

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホームせせらぎの家

施設種類：グループホーム 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：令和7年7月24日 10時00分～10時50分

会場：やまゆり苑 家族交流室

出席者：8名

内訳

利用者代表	0人	有識者	1人
利用者家族	1人	出雲高齢者あんしん支援センター	1人
地域住民の代表	1人	高齢者福祉課	1人
その他（理事長、施設長、所長、管理者）			4人

議題

（報告事項）

1、入居者状況：＜定員18名＞（入居者18名）

要介護度1・・・6人 要介護度2・・・4人 要介護度3・・・3人

要介護度4・・・5人 要介護度5・・・0人

* 平均介護度・・・2.3

* 平均年齢・・・87.0歳

* 待機者・・・13名

2、行事報告

R7.5.15	外出（花の郷）	利用者6名、職員3名
R7.6.3	演奏会	利用者11名、職員4名
R7.7.10	外出（ハレの輪くぼた）	利用者2名、職員1名

3、身体拘束について

4、虐待防止について

5、意見交換

* 行事報告について

あんしん

- ・ みなさん、良い顔しておられ、ほっとします。良いケアしている証拠だと思います。

コミセンセンター長

- ・ 初めて今年度、ハレの輪くぼたという事業を行いました。窪田小学校と一緒に地域の運動会を行っていましたが、閉校となり、地域の方が気軽に集まれる機会として行ないました。初めての事業に参加して頂き、お礼を申し上げます。

家族代表

- ・ 先日、体調不良で顔を見に行きましたが、すぐに顔を見に行けるのが良かった。なかなか風邪が流行っているので、気をつけて頂けたらと思います。

地域住民

- ・ 日々、色々な取り組みをされていて良いと思います。こうして外部は暑く、室内は涼しく、寒暖差もありますので、体調に気をつけて生活して頂けたらと思います。

高齢者福祉課

- ・ 畑いじりはやりがいをもってやっておられ、良い事だと思います。

* 身体拘束・虐待防止について

高齢者福祉課

- ・ チェックリストは2人でチェックされていて丁寧に行われていると思います。2人と言うのは担当の方と副担当みたいな方がされますか？

管理者

- ・ 担当者がチェックするときに出勤している職員と2名でチェックしています。

地域住民

- ・ 内出血や痣が出来やすい方はどうされていますか？

所長

- ・ 血液をサラサラにする薬を飲んでおられたりすると、軽く当たっただけでも内出血が出来やすく、内服されているか把握し、内出血がある場合は、どのような場面でできやすいか等職員間で確認し、対応しています。更衣時、入浴時に、内出血等の確認は行っています。

家族代表

- ・ 職員さんの表情や接し方でいたい分かると思う。日々の中でイライラすることもあると思いますが、家族としてはお願いするしかない。

高齢者福祉課

- ・ 負担がある仕事だと思います。メンタルケアだったり、風通しの良い職場や雰囲気が良いと虐待がおきにくい印象があります。

あんしん

- ・虐待は特別な事ではなく、自分も高齢者と、その家族と関わる機会も多く、伝え方によっては、感じ方も変わるので、良くも悪くも紙一重だと思っています。職員さんが無理すると、利用者の方は負担になり反対に返ってくると思います。自尊心を大事にし、声掛け一つ一つを大事にしていくことが必要だと思います。

佐田の大事なグループホームなので、一緒に守っていければ良いと思います。

センター長

- ・福祉のコミュニケーションということで細かいことは分かりませんが、改めて勉強させて頂きました。

家族代表

- ・１度に職員の異動で、がぁーと変わったりして寂しい気持ちもあります。

所長

- ・一度にメンバーが変わったことで心配された部分も多々あったと思います。家族様に信頼して頂けるように今後も努力していきます。

地域住民

- ・しばらくすると暑さも和らぐと思いますので、また、その際は近隣など散歩などされるといいのかなと思います。

施設長

・虐待に関しましては、職員の焦る気持ちや自分が対応としないといけないという責任感から追い込まれてしまう場合があると思いますが、利用様の感情がネガティブになっているときに無理に対応するとうまくいかないことも多く、そういう時は他の職員に対応を変えることを推奨しています。以前はそれが良くないことで、自分で何とかしなければという職員が多かったのですが、何とかしなければと思えば思うほど職員にとっても利用者様にとってもいい結果は出ないことがわかってきたので、対応変わることが当たり前になってきています。虐待がこの世から１００％なくなるになることは難しいと思いますが、せせらぎの家では所長はじめ管理者たちが、職員の精神面も気かけながら声をかけていますので、安心してご利用ください。

理事長

- ・虐待ですが、職員の仕事ぶりを見てみると良くやっていると思います。私自身、祖父や祖母にどんな接し方をしていたのか考えますと、酷い事を言ったりしたこともあったと思います。祖父、祖母が亡くなり、日々、反省をしております。こうして今、福祉に携わらせて頂いて、改めて勉強になっています。昔、身内で市内の病院に入院していた時に両手がくくってあって、家族になぜ、くくってあるのかと聞くと看護師さんから暴れたらいけんけんと言われたそうです。患者にとっては物凄いストレスだと思い、解き

ましたら、笑顔になりました。身体拘束はその施設の都合だと思います。虐待、身体拘束は本気でやっていかないといけないことだと思います。

所長

- ・みなさま一人ひとりの日常生活における希望にそって支援していくことが、身体拘束排除、虐待防止の意識に繋がると思います。今日いただいた意見を参考にしながらせせらぎの家で安心して生活して頂けるよう努めますので、今後ともよろしくお願いします。

管理者

- ・コロナで途絶えてしまった地域との繋がりをまた少しずつでもつないでいければと思いますので、よろしくお願いします。

以上